



写真④石庭



写真③熊の土俵岩

チゴキ崎の美岩や奇岩

2000万年前の岩の神秘

今回はチゴキ崎の植物の話をのせましたので、今回は岩の話、それも岩の形の話をしたと思います。チゴキ崎のまわりには変な形の岩や面白い形の岩がたくさんあります。岩の形を楽しむのもジオパークの楽しみです。では、美岩や奇岩をいくつか紹介しましょう。

〈熊のサンドイッチ岩〉写真①

チゴキ崎にある岩ですが、写真の通り幅50センチほどの黒パンにミルクジャムをはきみこんだようなまるでサンドイッチのような岩があります。チゴキ岩では熊と格闘した方がいるそうです。そこで、この岩を「熊のサンドイッチ岩」と呼びたいと個人的に思います。これはおそらく「複合岩脈」です。



写真①

サンドイッチ岩

〈1.5センチのキセキ〉写真②

キセキというのは、漢字では「輝ける石」と書きます。つまり、輝石という鉱物です。チゴキ崎の頂上付近の岩にこの鉱物が見えていますが、なんと1.5センチもあるのです。これは珍しいですね。まさに「1.5センチのキセキ」。火山岩の中の斑晶はんしょうです。



写真②

〈熊の土俵岩〉写真③（上段右）

海岸沿いに少し北に歩くと、立派な門のような岩があります。その間を通り抜けると熊でも相撲ができそうな広い土俵のような場所があります。岩だらけの海岸線の中で突然現れる平らな岩盤には驚きを感じます。しかも、その岩の向こうは広大な海。心が洗われるような気がします。地

形学者にできかたを聞きたいものです。

〈石庭〉写真④（上段左）

さらに北に歩きましょう。京都のお寺、例えば龍安寺などには、面白い形の岩を配置してその間に白砂を敷き詰めた石庭というものがあります。チゴキ崎の少し北にある場所にはまさに石庭のような景色です。突き出た岩の間に小石が敷き詰められたようすはまさに天然の石庭です。

〈座禪岩と須弥山岩〉写真⑤

石庭で瞑想に耽るのも良いのですが、もつといいところがあります。写真の座禪岩です。2畳ほどの平らな岩が須弥山のような、とがった岩の下にあります。古代インドで世界の中心にそびえていると考えられていた須弥山の下で瞑想にふけると本当に「さとりが開けるのでは」という気になってしまいます。



写真⑤

〈これらの岩は〉

これらの岩はおそらく2000万年前の火山活動でできた溶岩や火山灰などです。仏教やキリスト教の誕生よりもはるかに古い岩たちということを考えてとさらに神秘的な感じがしませんか？

八峰町の秘密の奥庭であるチゴキ崎、大事にしたいですね。

秋田大学教育文化学部 教授 林 信太郎

八峰白神ジオパーク推進協議会

〒018-2612

秋田県山本郡八峰町八森字ノケソリ116

旧岩館小学校内
TEL 0185-78-2427